

「教師にゆとりを！こどもに笑顔を！プロジェクト」による 教員の働き方改革の進捗状況について

令和7年10月7日(火)

教育委員会事務局 教職員課 南、塩野（内線：64821、64823）
高校教育課 尾崎、川西（内線：64871、64872）

教員の働き方改革の進捗状況について

教職員課

教員業務支援員

業務内容

教員が児童生徒への指導や教材研究に力を注ぐことができるように、印刷物の準備やデータの入力などの事務的な業務を教員に代わって実施

補助の概要

国の補助制度を活用し、教員業務支援員を配置する市町村に対し、令和6年度から従来の市町村負担分を県が補助

R5県予算 : 82,000千円

【国2/9、県4/9、市町村3/9】

R6県予算 : 178,330千円(前年度+96,330千円)

【国1/3、県2/3、市町村 0】

R7県予算 : 216,962千円(前年度+38,632千円)
(R5年度+134,962千円)

【同上】 ※ただし、国、県の負担率は交付要綱に定める上限
(いずれも予算の範囲内)

	配置市町村数	配置学校数	
R5実績	15団体	151校	(全281校の54%)
R6実績	34団体	246校	(全279校の89%)
R7申請	36団体	253校	(全279校の91%)

R5-R7年度比 (+21団体) (+102校) (+37ポイント)

※未配置団体 曾爾村、天川村、野迫川村、東吉野村

※未配置理由 いずれの団体も児童生徒数が少なく、教員業務支援員が担う業務も少ないことから、配置効果が低いため

～R6年度配置34団体の状況～

33団体(97%)の市町村が効果あり

※効果: ・平均在校等時間の縮減
・長時間勤務者の減少
・業務量が削減されたと感じる教員の増加

教員の働き方改革の進捗状況について

高校教育課

学習支援員

業務内容

児童生徒ひとりひとりにあったきめ細かな学習指導や、不登校児童生徒への支援等に従事

補助の概要

国の補助制度を活用し、学習支援員を配置する市町村に対し、令和6年度から県の補助内容を拡充

R5県予算 : 56,000千円

【国2/9、県4/9、市町村3/9】

R6県予算 : 101,802千円(前年度+45,802千円)

【国1/3、県2/3 ・ 国2/9、県4/9、市町村3/9】

R7県予算 : 140,139千円(前年度+38,337千円)
(R5年度+84,139千円)

【同上】 ※ただし、国、県の負担率は交付要綱に定める上限
(いずれも予算の範囲内)

	配置市町村数	配置学校数	
R5実績	14団体	131校	(全281校の 47%)
R6実績	27団体	222校	(全279校の 80%)
R7申請	25団体	206校	(全279校の 74%)

R5-R7年度比 (+11団体) (+75校) (+27ポイント)

※R7申請で減少した2団体は、いずれも「校内教育支援センター支援員の配置事業」に移行し、引き続き、国・県が補助しています

～R6年度配置27団体の状況～

25団体(93%)の市町村が効果あり

※効果 : ・基礎的な知識・技能の習得
・不登校児童生徒の減少
・「学校の勉強がわかるようになった」「学校は楽しい」と感じる児童生徒の増加